

2019 (令和元) 年度 事業報告書

第 54 期 〔 自 2019 (平成 31) 年 4 月 1 日
至 2020 (令和 2) 年 3 月 31 日 〕

一般財団法人 日本自動車査定協会

第54期 事業報告書

概況

2019年度の世界経済は、前半と後半で様相を大きく転じた。年度前半は米中関係の摩擦の激化や中国、欧州経済の減速、英国のEU離脱などの不安定な要素はありながらも、全体としては緩やかな回復が継続していた。しかし、年度後半は、前半にもみられた不安定要因に加え、中国を発生源とする「新型コロナウイルス」の世界的な深刻な蔓延により、各国の経済は大幅に後退した。

一方、日本経済については、年度前半までは製造業を中心に弱含みに推移しながらも全体としては、堅調な成長を継続していたが、年度後半は、相次いだ自然災害や10月の消費税引上げにより、個人消費や輸出を中心に景気は大きく減速した。さらに、中国を発生源とする「新型コロナウイルス」の感染拡大が、その落ち込みに拍車をかけることになった。

このような中、2019年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比4.2%減の5,038,727台となり、前年度からマイナスとなったが4年度連続で500万台を超えた。このうち、登録車は3,182,760台、同4.6%減、軽自動車は1,855,967台、同3.5%減と共に前年度割れとなった。

一方、2019年度の中古車市場は、登録車が前年度比0.9%減の3,807,830台、また、軽自動車は同0.3%増の3,121,384台と微増となり、3年連続で300万台を超えた。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っている。その結果について、全国各支所での研修会、講習会といった機会を活用し、周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。2019年度についても、6月、12月に実施したが、申請者は12,421名、前年比7.7%下回った。最近における自動車販売店の統廃合や社員の減少という環境もあるが登録査定士は2020年3月末現在134,338名となり、前年と比べ1,018名減少した。

販売店、信託会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、37,120台で前年比98.9%とほぼ横ばいとなった。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、4,176台で前年比73.0%と減少した。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は45,988台と前年同期比80.6%と減少した。

また、商品中古車の確認証明申請台数は168,668台、前年比96.7%と減少した。

中古車輸出検査事業については、スリランカ、モーリシャス、バングラデシュなどを中心に、8,915台と前年比55.9%となった。当事業は、仕向け国内の政治的事由に大きく影響を受け輸出台数が極端に増減を繰り返していることもあり、今後対応の難しさが更に増すものと思われる。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業（V-CON）についても、検査台数が123,282台と前年比102.4%と増加した。

カーチェックシートのWeb版システム「カーチェックス」については、6メーカーで基幹システムに連動する構築をしており、更なる利便性のため、改修を随時行っている。

また、オートオークション検索サイト「e-JAN」の拡販の為、新規AA会場の獲得、利用者の利便性の為に新機能追加等を図った。

当協会が発行する中古車に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減等から販売環境は厳しく、販売部数は減少しているが、参考資料として引き続き高い評価を得ている。世の中が紙媒体から電子媒体へ移行するなか、当協会の電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内容等の情報を提供しているが、2019年においても、迅速な情報の提供と内容の充実を図るとともに利用者の利便性も図っている。

2019年度の当協会事業については、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費の節減等に努めたところであるが、厳しい経済環境等もあり、非収益事業は黒字、収益事業は赤字、全体としては黒字の決算となった。

主要事業内容

1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

(1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

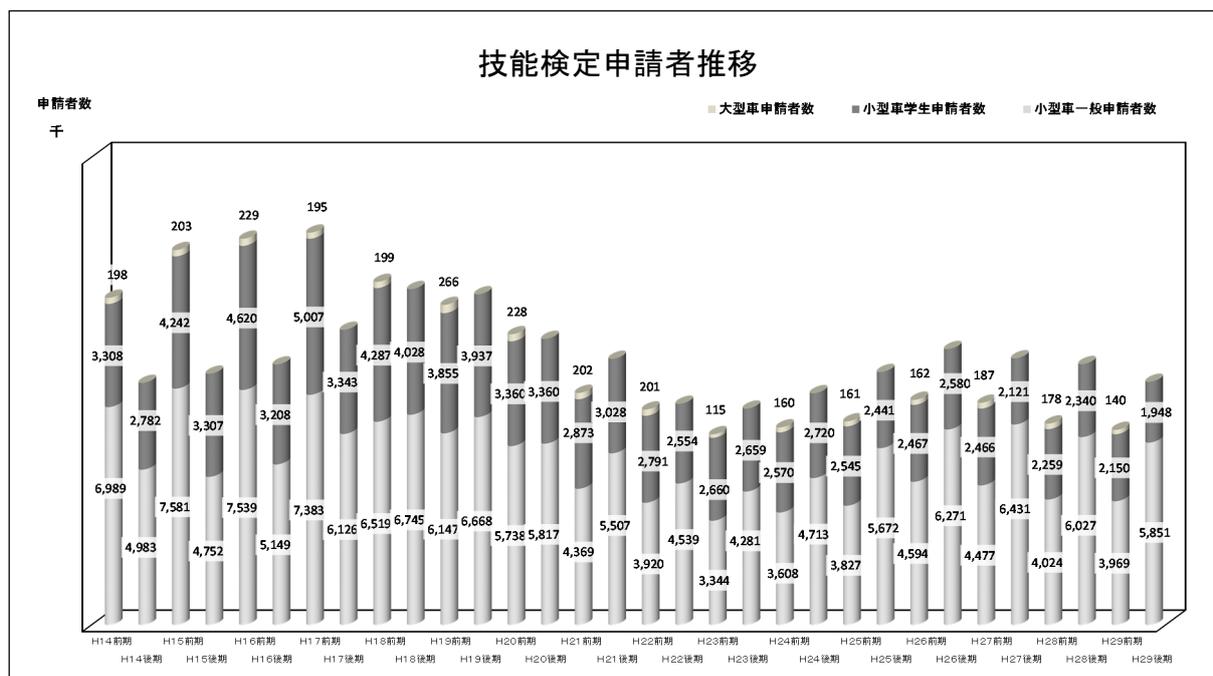
自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、1996年度以降毎年、技能検定試験を2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

2019年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施し、査定制度普及に努めた。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型			大型	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	5,174名	7,092名	12,266名	155名	12,421名	13,458名	92.3%
(内学生)	(1,790)	(1,432)	(3,222)	(—)	(3,222)	(3,621)	89.0
受験者数	4,860	6,763	11,623	148	11,771	12,781	92.1
(内学生)	(1,643)	(1,380)	(3,023)	(—)	(3,023)	(3,425)	88.3
合格者数	3,832	4,828	8,660	143	8,803	10,132	86.9
(内学生)	(1,209)	(918)	(2,127)	(—)	(2,127)	(2,560)	83.1
合格率	78.8%	71.4%	74.5%	96.6%	—	—	—

2019年度の受験申請者総数は12,421名となり、前年の13,458名を1,037名(7.7%)下回った。



小型車の通年合格率は74.5%となり、昨年の79.0%を4.5%下回る結果となった。2020年3月末現在の登録査定士は135,356名で前年度から262名増加した。また、査定業務実施店数は7,843社で前年度から5社減少した。

(2) 中古車市場に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

小型車加減点基準では、修復歴の「みなし修理費」及び減価式による減価値と走行キロ加減点の加減率について外部機関を通じて検証を行った。また、大型車加減点基準について、加減点の全面見直しを行い、変更案を全国査定長会議にて発表した。

(3) 適正査定のための査定士に対する研修および講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は登録を維持する条件となっている。この義務付け研修会は、2019年度は全国各支所で448回実施され、30,357名が受講した。この中には実車を用いての研修会が102回含まれており、1,196名が受講した。

また、「修復歴の判断基準」の教材を使用して査定士証更新時の技能向上研修と併せて「特別講習」として積極的に研修した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は849回、10,180名となっている。最近では事故車（修復歴車）の見分け方のニーズが増加しているが、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修を要望したところもあるなど、実車を用いた研修が849回中821回と実車中心となっている。

(4) 業界が実施する中古自動車査定士技能コンテスト等への積極的協力

本田技研工業(株)では全国査定士コンテストを毎年実施しており、当協会では予選段階からこれに積極的に協力した。都道府県レベルの予選会及び地区大会、並びに全国大会においても、学科試験問題の作成、正解作成、採点等において協力を行った。

また、スズキ(株)では今年度も代理店社員の査定技術向上の一環として、机上査定試験が行われ、全国で代理店84社、5,569名が受験した。当協会では、机上査定問題の作成及び採点でスズキ(株)に協力した。更にスズキ(株)では修復歴と外板の状態を正しく判断できる営業担当者にスズキ独自の査定士資格を付与するため、「スズキ認定査定士技能検定」を実施していることから、当協会では受験者の教育、

試験車両の事前査定及び試験での協力を行った。

また、日産自動車(株)からは、社員である日産検査員が発行した「品質評価書」の監査業務を請け負い、日産品質評価制度の信頼性向上に貢献した。

(5) 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会への研修協力

2011年度より一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会では会員の知識・技能の向上の一環として「中古自動車販売士制度」を実施しており、その教育の中で当協会に修復歴車を含めた車両品質評価の研修依頼があり、2019年度においては、全国で417名に研修を行った。

(6) 査定士のための各種研修用教材の開発

非登録の査定士が復活する際に利用するeラーニング教材「査定士技能向上研修用ノート No. 15」を作成し、2019年9月より運用を開始した。また、ASV（先進安全自動車）をテーマとした冊子を作成し、2020年4月1日より支所を通じて販売店に配布した。

(7) 一般消費者への査定制度PR

当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するためPRに努めた。

2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格情報内容の充実

2019年度は中古車市場の変動が激しく、市場の変動が読み難い複雑な価格の動きとなった。こうした市場実態の把握が難しい局面が続いている状況の中、ガイドブック作成にあたり各メーカー及び販売会社と情報交換を行い更に「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

(2) 中古車ガイドブック発行方法について

販売店の統廃合、価格情報誌の増加やインターネットの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数の減少傾向が続いていることから、今後も購読者の利便を更に向上させるよう JAAI-Net に「Web Silver」「Web Yellow」

として掲載している。また、拡販策として中古車ガイドブック、「シルバークック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に3ヵ月間無償配布するとともにガイドブックを幅広くPRするようシルバークックの一部掲載内容を「デジタルブック」として査定協会ホームページに掲載し閲覧できるようにしている。

(3) カーチェック・シート Web 版の活用及び普及

2011年8月に始動した査定総合支援システム「カーチェックス」だが、現在、6メーカーがメーカー主導でほぼ全国の販社で導入し、基幹システム連動を果たしている。常に販社やメーカーの意見をシステムに反映しアップグレードを図っており導入は増えている。

また、「カーチェックス」を軸としたメーカーのシステム構築にも積極的に提案、構築に協力している。

今後も現場の意見を聞きながら使用者の利便性を向上させるために開発を続けていく。

(4) 流通相場検索サイトについて

2019年2月に「e-JAN」としてリニューアルオープンをしたオートオークションの実績と店頭小売価格の実績を掲載しているサイトも直実にユーザー数を伸ばしているが、利用者の利便性を高めるべく常に情報を収集しながら発展させている。

(5) 査定参考文献について

「2019年版の査定ガイド」

各メーカーより新型車が相次ぎ発売されたが、車種やグレードを特定するために型式指定番号と類別区分番号を手がかりとした情報を纏めて、すべての車種を漏れなく収載した。

また、仕様・装備品等も年々増加しており情報内容が複雑化したことから購読者の関心の高い装備品欄をより判り易く纏め、購読者の利便性の向上を図った。輸入車についても国産車同様に情報内容の充実に努めた。

(6) JAAI-Net にて提供する情報内容の充実及び利用会員増加対策の強化

JAAI-Net による車種諸元情報・中古車価格情報の提供については、カーチェックスの車両情報にも使用することから、内容の充実を図るため、車種データの精査を行い、また装備品の種類を増やした。

自動車メーカー、自動車関係団体、損害保険会社等に対して積極的に JAAI-Net

の利用を呼びかけており、自動車メーカー、関係団体、損害保険会社等に各種情報データを提供することができている。

JAAI-Net 会員数は2019年度末で406企業、1,304IDであった。

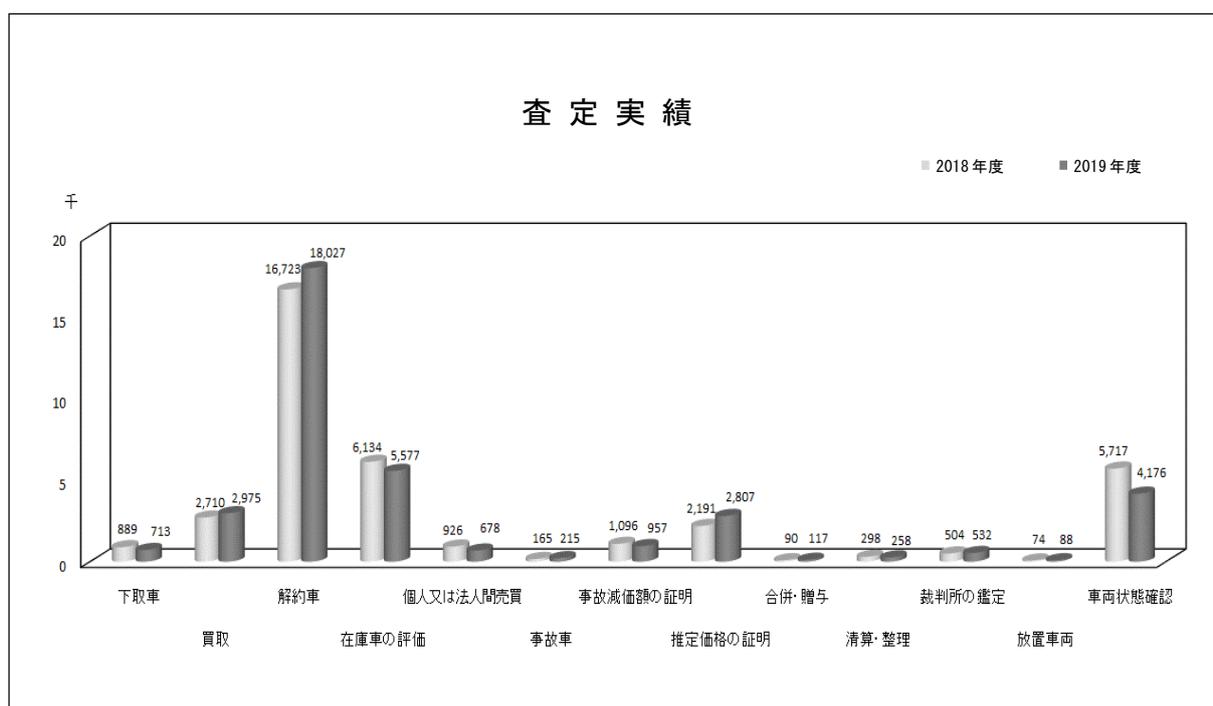
3. 査定協会職員による査定及び検査業務の適正な実施

(1) 査定業務の適正な実施

2019年度の査定実績は、37,120台となり、前年比98.9%となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は713台で前年比80.2%、「買取」については2,975台で前年比109.8%であった。

依頼先区別に見ると、「販売店」からの査定依頼が10,048台で前年比84.3%、専門店は前年比101.1%、一般ユーザーは前年比107.6%となった。



(2) 車両状態証明事業 (V-CON) の積極的な実施

当協会では、2019年度51支所で車両状態証明事業を実施し、検査台数では123,282台(対前年比102.4%)となり、2008年度より累計で総検査台数が80万台(847,450台)を突破した。

また、認定検査員の育成では105名が合格し、累計合格者は1,567名となった。

認定検査員制度は販売店における検査の内製化を促進し、検査費用のコストダウンと消費者からの中古自動車品質に対する信頼度向上の双方に貢献するため、今後も積極的に実施する。

(3) 中古車品質証明及び修復歴車判定業務の積極的な実施

当協会では、中古自動車の価格評価以外に、中古車取引において重要なファクターである修復歴車(事故車、事故歴車)か否かの証明を求められることも多く、そのようなケースでは「車両状態確認証明書」を発行して対応している。この「車両状態確認証明書」による証明業務は、2001年度から実施しているが、毎年一定の検査依頼があり、社会のニーズにあった業務として確立されてきている。2019年度においては、全国で4,176台(前年実績5,717台、前年比73.0%)の依頼があった。

(4) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

1986年度から実施している当業務は、長引く金利水準の低迷と経営環境の厳しい中、経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、2019年度は168,668台(前年174,402台、前年比96.7%)の申請であった。

なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税減免金額は、約15億2千7百万円となっている。

(5) オークション出品車両及び車両評価の適正な検査の実施

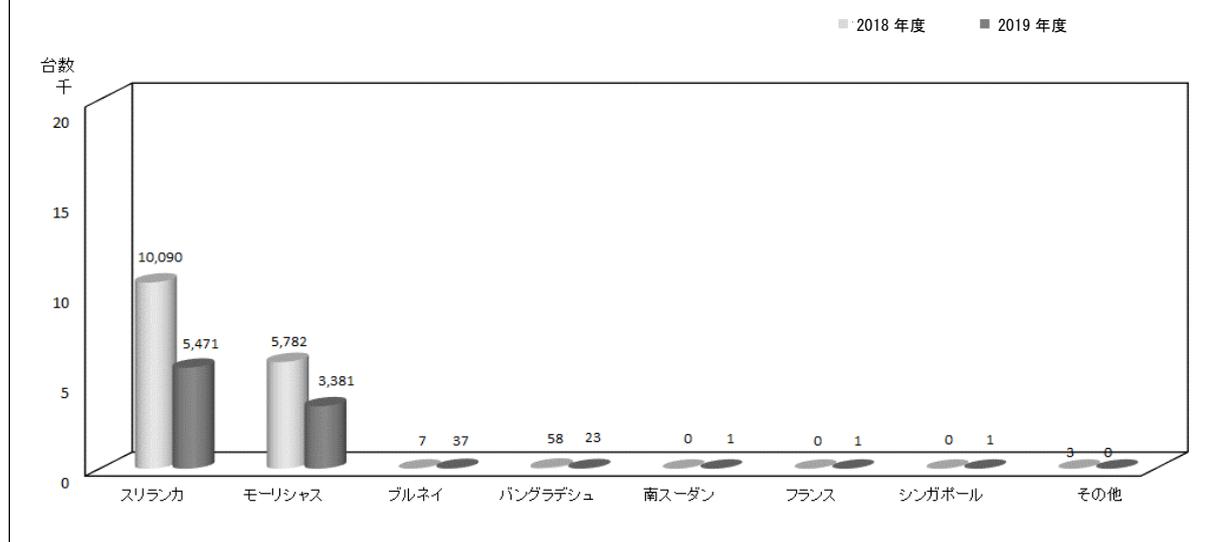
当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。2019年度は、新車販売台数の低迷の中ではあるが、45,988台(前年比80.6%)であった。

(6) 中古車輸出事業の海外へのPRと信頼される中古車輸出検査の実施

2019年度の輸出検査台数は8,915台(前年比55.9%)であった。

その内、スリランカの検査台数は5,471台(前年比54.2%)、モーリシャスは3,381台(前年比58.5%)となった。

輸出検査実績



4. その他

(1) 協会内システムの充実

協会版カーチェックスの操作性等について支所からの意見・要望等を収集しディーラー版カーチェックスへフィードバックを行い、ディーラーへのシステムの定着を今後も継続していく。また、査定証発行システム・経理システムとも連動し各支所の利便性の向上・業務効率化を図った。

また、各メーカー、各販社が行うコンテストにカーチェックスの「コンテストモード」を利用して積極的に協力した。

(2) 協会職員の人材教育（経理担当者研修、査定・検査職員研修等）

① 査定長・検査長並びに担当者会議の開催

2020年1月22日、23日の2日間に亘り全国査定長・検査長並びに担当者会議を開催した。主たる内容は、各分科会からの活動報告及び、外部講師による「ハラスメント防止研修」を実施した。

② 職員研修会の開催

2019年10月29日、30日の2日間に亘り全国査定職員研修会を開催した。

主たる内容は、話し方教育センターより「講師力の向上を目的に受講意欲があがる話し方、惹きつける話し方の獲得」、あいおいニッセイ同和損害調査㈱より「先進

安全自動車、最新ボディー構造」の研修を実施した。また、2日目は東京モーターショーの見学を実施した。

③ 経理担当者研修会の開催

適正、的確な経理処理を行うため2020年2月5日に集合研修を実施した。また、より理解を深めるために2019年7月から10月にかけてブロック毎の研修会を実施した。

(3) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め経費及び時間の節減に努めた。

(4) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(5) 関係諸官庁並びに自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(6) 個人情報保護法等法令順守への取組み

2005年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、これまで以上に査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに個人情報を尊重して厳正に業務に取り組むよう徹底に努めている。

今年度も一般財団法人全日本情報学習振興会が主催する個人情報保護士認定試験を希望者が受験し2名が合格した。在籍取得者数は本部・支所含め28名となった。

第54期に開催した主な会議、講習会等

A. 理事会

第175回理事会（2019年6月5日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成30年度(第53期) 計算書類等(案) について
- (3) 事業報告書(案)・計算書類等(案) について監事からの監査報告
- (4) 第142回評議員会の開催日時について
- (5) 理事会議長の順位決めについて
- (6) 理事交代に伴う後任理事の推薦について
- (7) 第176回臨時理事会の開催日時について

第176回理事会（2019年6月25日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 代表理事・理事等の選定について
- (2) その他

第177回理事会（新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催中止による書面での実施）

議 題

- (1) 2020(令和2)年度(第55期) 事業計画書(案) の承認について
- (2) 2020(令和2)年度(第55期) 収支予算書(案) の承認について
- (3) 第178回理事会の開催日程(案) について
- (4) 第143回評議員会の開催日程(案) について
- (5) 第179回理事会の開催日程(案) について
- (6) その他

B. 評議員会

第142回評議員会（2019年6月25日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業報告書について
- (2) 平成30年度(第53期) 計算書類等(案) について
- (3) 事業報告書・計算書類等(案) について監事からの監査報告

- (4) 理事の承認等について
- (5) 評議員の交代に伴う後任評議員の選任について
- (6) その他

C. 技能検定専門委員会

第138回技能検定専門委員会（2019年5月16日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第67回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第139回技能検定専門委員会（2019年7月12日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第67回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第140回技能検定専門委員会（2019年11月5日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第68回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第141回技能検定専門委員会（2020年1月14日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第68回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

D. 査定基準価格専門委員会

第600回	2019年	4月19日	於「東郷記念館」
第601回	2019年	5月17日	於「東郷記念館」
第602回	2019年	6月14日	於「東郷記念館」
第603回	2019年	7月19日	於「東郷記念館」
第604回	2019年	9月20日	於「東郷記念館」
第605回	2019年	10月18日	於「東郷記念館」
第606回	2019年	11月15日	於「東郷記念館」
第607回	2019年	12月20日	於「東郷記念館」

第608回 2020年 1月17日 於「東郷記念館」

第609回 2020年 2月14日 於「東郷記念館」

E. 輸出検査特別委員会

2019年11月29日 於「品川プリンスホテル」

2020年 2月20日 於「本部会議室」

F. 査定士技能検定試験

第67回 2019年 6月16日 小型 受験者数 4,860名

2019年 6月19日 大型 受験者数 148名

第68回 2019年12月11日 小型 受験者数 6,763名

G. 全国支所長会議

2019年6月6日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業報告について
- (2) 平成30年度(第53期) 計算書類等(案) について
- (3) その他

2020年2月20日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 2020(令和2)年度 事業計画(案) について
- (2) 2020(令和2)年度 予算の考え方について
- (3) その他

H. 運営企画委員会

第281回運営企画委員会(2019年6月5日) 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成30年度(第53期) 計算書類等(案) について
- (3) 2020年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について
- (4) その他

第282回運営企画委員会（2019年11月29日） 於「品川プリンスホテル」
議 題

- (1) 最近の状況について
- (2) 2020（令和2）年度（第55期）事業計画及び予算編成の考え方（案）について
- (3) 各分科会の審議状況・予定について
- (4) その他

第283回運営企画委員会（新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催中止による
書面での実施）

議 題

- (1) 2020（令和2）年度 収支予算書（案）について
- (2) 2019（令和元）年度 各分科会の活動報告について
- (3) 2020（令和2）年度 各分科会の進め方について
- (4) その他

I. 全国査定長・検査長並びに担当者会議

2020年1月22日～23日 於「東京グランドホテル」

- | | |
|-----|--------|
| 1日目 | 出席者72名 |
| 2日目 | 出席者70名 |

議 題

- (1) 各分科会からの報告
- (2) ハラスメント防止研修
- (3) その他

J. 運営企画部会

2019年 6月 5日	於「東海大学校友会館」
2019年11月29日	於「品川プリンスホテル」
2020年 3月	（新型コロナウイルスの感染拡大を 受け開催中止による書面での実施）

K. 査定実務分科会

2019年 4月10日～11日	（第1回）	於「本部会議室」
2019年 6月26日～27日	（第2回）	於「本部会議室」

2019年 7月 23日～24日	(第3回)	於「本部会議室」
2019年 9月 9日～11日	(第4回)	於「本部会議室」
2019年10月 24日～25日	(第5回)	於「本部会議室」
2019年12月 17日～18日	(第6回)	於「本部会議室」
2020年 1月 9日～10日	(第7回)	於「本部会議室」

L. 教材分科会

2019年 5月 28日～29日	(第1回)	於「本部会議室/日立」
2019年 6月 24日～25日	(第2回)	於「本部会議室」
2019年 7月 16日～17日	(第3回)	於「本部会議室」
2019年 9月 17日～18日	(第4回)	於「本部会議室」
2019年11月 11日～12日	(第5回)	於「本部会議室」
2020年 1月 15日～16日	(第6回)	於「本部会議室」
2020年 2月 18日～19日	(第7回)	於「本部会議室」

M. 査定基準価格分科会

2019年 4月 2日～ 3日	(第1回)	於「本部会議室」
2019年 6月 3日～ 4日	(第2回)	於「本部会議室」
2019年 7月 2日～ 3日	(第3回)	於「本部会議室」
2019年 8月 1日～ 2日	(第4回)	於「本部会議室」
2019年 9月 3日～ 4日	(第5回)	於「本部会議室」
2019年10月 1日～ 2日	(第6回)	於「本部会議室」
2019年10月31日～11月1日	(第7回)	於「本部会議室」
2019年11月 28日～29日	(第8回)	於「本部会議室」
2020年 2月 4日～ 5日	(第9回)	於「本部会議室」

N. 輸出検査実務分科会

2020年 2月 12日	(第1回)	於「本部会議室」
--------------	-------	----------

O. V-COIN推進分科会

2019年 4月 8日～ 9日	(第1回)	於「本部会議室」
2019年 7月 30日～31日	(第2回)	於「本部会議室」
2019年 8月 26日～27日	(第3回)	於「本部会議室」
2019年10月 8日～ 9日	(第4回)	於「香川」

2019年11月18日～19日 (第5回) 於「本部会議室」
2019年12月19日～20日 (第6回) 於「本部会議室」

P. システム分科会

2019年 6月18日～19日 (第1回) 於「本部会議室」
2019年 9月24日～25日 (第2回) 於「本部会議室」
2019年12月12日～13日 (第3回) 於「本部会議室」
2020年 1月27日～28日 (第4回) 於「本部会議室」

Q. 職員の研修会

(1) 全国査定職員研修会

2019年10月29日～30日

1日目 参加者67名 於「東京グランドホテル」
2日目 参加者54名 於「東京モーターショー見学」

(2) 全国経理担当者研修会

2020年2月5日 参加者70名 於「東京グランドホテル」

(3) V-CON本部研修・資格試験

2019年 6月11日 参加者 2名 於「本部会議室」
2019年 9月12日 参加者 1名 於「本部会議室」
2019年12月 6日 参加者 1名 於「本部会議室」
2020年 3月 6日 参加者 2名 於「本部会議室」

(4) 輸出中古自動車検査員資格研修・試験

2019年10月31日 参加者 7名 於「本部会議室」

R. コンテスト全国大会関連

第9回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会正副委員長会議

2019年 5月24日 参加者 支所5名/本部7名 於「本部会議室」

S. その他

第54期に作成した主な出版物

『査定ガイド』 (2019年版)